



平成30年3月12日

各 位

会 社 名 南海プライウッド株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 徹
(コード：7887、東証第2部)
問合せ先 執行役員 管理部門長 松浦 義博
(TEL. 087-825-3615)

関係会社株式評価損（個別）及び債務保証損失引当金繰入額（個別）の計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり関係会社株式評価損及び債務保証損失引当金繰入額を計上することを決議いたしましたので、お知らせ致します。

記

1. 関係会社株式評価損の内容

当社の連結子会社であるNP ROLPIN SASは、平成26年1月の設立以降、フランス共和国において主として合板の製造販売事業を展開しており、成熟した合板市場での激しい価格競争の中で、比較的収益力のある高品質の合板を中心とした販売活動に取り組んでまいりました。しかし、現地で調達する原材料の品質水準が想定以上に低かったこと、生産工程の改善にも時間を要していること等により、収益力の乏しい低品質の合板の生産比率が高くなる状況が続いております。このような販売戦略と適合しない生産体制の問題解決に取り組んでまいりましたがその改善の遅れから、設立当初の事業計画に対して同社の黒字化が遅延する見通しとなっております。

その結果、同社の純資産価値が低下し、当社が保有する株式の実質価額が著しく下落していることから株式価値の回復可能性を検討してまいりましたが、当面の回復は難しいと評価し、「金融商品に関する会計基準」に基づき、関係会社株式評価損1,739百万円を計上することを決議いたしました。

2. 債務保証損失引当金繰入額の内容

NP ROLPIN SASの完全子会社であるROLKEM SASは主としてフェノール樹脂及び樹脂含浸紙の製造販売事業を行っております。NP ROLPIN SASはROLKEM SASに対して、324万ユーロの運転資金融資を行っており、当社はこの金銭消費貸借契約に対して、債務保証契約を締結しておりますが、ROLKEM SASは主要な販売先の内製化や、原材料価格の上昇等により利益計画の達成が困難な状況が続いております。

その結果、ROLKEM SASの純資産価値が低下し、当面の融資額の返済が困難な状況にあるため当該債務保証契約に対して、債務保証損失引当金繰入額137百万円を計上することを決議いたしました。

3. 業績に与える影響

上記の関係会社株式評価損及び債務保証損失引当金繰入額の計上による個別業績への影響につきましては、本日（平成30年3月12日付）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関

するお知らせ」をご参照ください。

尚、上記の関係会社株式評価損及び債務保証損失引当金繰入額は、連結決算上は消去されるため、連結業績に与える影響はございません。

以 上